

令和 8 年度第 1 回新潟県物品等入札監視委員会 議事録

開催日時	令和 8 年 7 月 29 日（水） 13:30～15:30					
場所	新潟県庁行政庁舎 2 階 201 会議室					
委員 (敬称略、五十音順)	○ 阿部 聡 (第四北越リサーチ&コンサルティング(株) 本部長) 出席					
	上村 都 (新潟大学法学部教授) 欠席					
	西條 和佳子 (元 NPO 法人ワーキングウイメンズアソシエーション 常任理事) 出席					
◎委員長	◎ 槻木 裕志 (公認会計士・税理士) 出席					
○委員長代理	廣田 貴子 (弁護士) 出席					
県出席者	(事務局) 出納局長、出納局管理課長、出納局管理課参事、出納局会計検査課長、出納局会計検査課課長補佐 (説明所属) 上越地域振興局地域整備部長、魚沼テクノスクール校長、三条テクノスクール校長、新潟地域振興局津川地区振興事務所長、新潟地域振興局地域整備部長					
審議対象部局	知事部局の地域機関					
審議対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日					
会議次第	1 議 事 抽出事案に係る審議 (1) 抽出結果報告 (2) 抽出事案の審議 2 次回委員会の日程等について					
抽出事案	5 件					
入札方式	契約日	所属名	件名・内容	契約金額 (円)	執行見込額 (円)	契約相手方
随意契約	令和 7 年 10 月 9 日	上越地域振興 局地域整備部	一級河川大瀬川 河川敷 刈払 (環境対策課) 事業 敷刈払委託	3,916,000		上新開発 (株)
随意契約	令和 7 年 11 月 19 日	魚沼テクノス クール	校舎等除排雪委託	32,560	4,400,990	堀之内建設業者 会
随意契約	令和 7 年 4 月 16 日	三条テクノス クール	職業訓練委託 DSプロ グラマー養成科 1 期	66,000	8,146,688	パジュ・プレー ン (株)
指名競争入札	令和 7 年 4 月 1 日	新潟地域振興 局津川地区振 興事務所	物品売買 (単価) (レギュ ラーガソリン)	180.40	2,236,960	(株) 川崎商会
一般競争入札	令和 8 年 1 月 19 日	新潟地域振興 局地域整備部	デンカビッグスワンスタ ジアム写真判定装置物品 売買契約	7,425,000		セイコータイム クリエーション (株) 信越営業 所
委員からの意見質問、それ に対する回答等	別紙のとおり					

委員からの意見質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
① 一級河川大瀬川 河川敷刈払（環境対策課）事業 敷刈払委託 （上越地域振興局地域整備部：随意契約） ・ 昨年からのクマの出没により対策が必要になったと考えるが、この緩衝帯整備事業はクマのみの対策を目的とした事業なのか。または、他の鳥獣も対象としているのか。 ・ クマ対策でなければ、当該箇所の敷刈払は実施しなかった場所なのか。 ・ 見込額 400 万円は、業者見積りを基に算定した金額なのか。 ・ 予算額が決まっている場合、業者から提出された見積額に従うといった考え方になるのか。 ・ 地域整備部発注の令和 7 年度河川除草業務委託は何者で実施しているのか。 ・ 今回契約した上新開発は、当該河川の除草業務を担当していた業者なのか。 ・ A 協会が上新開発を推薦した理由は何か。 ・ 予算額 400 万円を超えないように見積依頼しているが、見積額の妥当性はどのように検証したのか。 ・ 工事費内訳表に記載されている単価は、標準積算の単価に基づくものなのか。また、設計単	・ 本事業はクマ対策と聞いている。 ・ 当該箇所は年一回除草を実施している。伐木の方は、川の断面に対する流下阻害の影響などを鑑みて実施することになるが、当該箇所については予定はなかった。 ・ 400 万円は予算配当された予算額。 ・ 予算の範囲内でやることになるため、敷刈払を行う範囲を業者打ち合わせの中で調整した。 ・ 河川除草業務は管内を 6 ブロックに分けて複数業者で実施している。 ・ 下請として当該箇所の作業に従事していた。 ・ 現場に精通していたためと考える。 ・ 見積額については標準積算との比較は行っていない。概算で比較した結果、今回は機械の導入もあり妥当と判断した。 ・ いわゆる設計単価であり、設計単価は公表されている。

意見・質問	回答
価は公表されているのか。 ・業者が、公表されている単価を参考にし、作業量等で積算して予算の範囲内で業務を行ったという理解でよいか。 ・随意契約理由書に「令和7年度河川除草業務委託を受託している」とあるが、同一業者が令和7年度に2回受注したという意味か。 ・元受けと下請けでは、今回の藪刈払業務の、人件費や積算内容にどのような違いがあるのか。 ・比較したとしても、内容が異なるため、比較はできないということか。 ・今後もクマが出れば、同業務が継続すると考えるが、来年度以降は金額比較ができるとよいと考える。（意見のみ）	・そのとおり。 ・随意契約理由書の記載は下請として従事していたことを意味している。記載が不十分であったため訂正する。 ・除草業務は草刈りのみ、いわゆる県の標準歩掛りでの積算となり、本事案の見積とは異なる。 ・県の標準歩掛りでの積算よりも安価という認識である。
② 校舎等除排雪委託 (魚沼テクノスクール：随意契約) ・業者が近隣に所在していることで重機の移動費用も抑えられるとの説明だったが、資料にある「重機の回送費」がその費用に当たるのか。 ・1 km の単価をもとに、4 万 3, 000 円という金額が算定されているのか。 ・魚沼地区では毎年除雪が必要になると思われるが、業者から提出される見積額だけでなく、過去の除雪費や他部局の情報などをもとにして予定価格を算定することはできないのか。 ・令和7年度の執行予定額が近年で最も高くなっているが、これは作業時間などの増加によ	・重機の回送費には、重機の移動費用も含まれている。 ・重機回送費の内訳までは確認していない。 ・(豪雪地域であり、) 屋根の除雪・排雪量から比較対象がないため、予定価格については、これまでの実績の平均値を基に算定していた。 ・令和7年度の執行予定額が増加した要因としては、前年度は実施していなかった寮の除雪や、体

意見・質問	回答
るものか、それとも人件費の上昇の影響によるものか。 ・毎年、堀之内建設業者会と随意契約を締結しているという理解でよいのか。 ・実績額は降雪量によって変動すると思うが、契約単価の推移はどのようになっているか。単価の変化を踏まえ、物品等指名審査会でどのような審議を行っているのか。 ・随意契約を継続せざるを得ないのであれば、契約単価を十分審議した上で契約を行うことが望ましい。(意見のみ) ・対応可能な業者がいらないという事情から毎年同じ業者へ依頼しているものと思われるが、単価などの十分な確認が行われていないように感じた。 毎年依頼しているのであれば、人件費の単価により上昇していると考えられる。その上昇が妥当かどうかを確認し、翌年度の契約につなげていくほうがよいのではないか。(意見のみ) ・堀之内建設業者会以外に対応可能な団体はない状況という理解でよいのか。 ・地域内に同様の団体は存在しないのか。 ・この業者のみであれば、致し方ない。他の委員の発言にもあったが、単価の妥当性について十分検討してほしい。他地域の除雪作業の単価と比較したことはあるか。 ・今後、他地域の契約単価との比較を行うことは可能か。また、他の地域の契約単価と比較する考えはあるか。	育館の除雪及び排雪作業を実施したことが影響していると考えている。 ・はい。 ・前年度と比較して大きな変動はなかったため、前年との差異を確認しながら審議を行った。 ・人員や重機を確保するためには、個別業者よりも建設業者会へ依頼する方がより多くの人材を集められるメリットがあると判断している。 ・はい。 ・他地域の除雪単価との比較は行っていない。 ・次年度より検討することを考えたい。

意見・質問	回答
③ 職業訓練委託 DS プログラマー養成科 1 期 (三条テクノスクール：随意契約) ・本コースは以前から実施されているものと思うが、定員 16 名に対して定員割れとなることはないのか。 ・どれくらいの割合になるのか。 ・定員を満たさない割合が高いと感じる。定員を満たしていなくても、国からの委託事業として実施を継続する必要があるのか。 ・今回、企画提案書を提出したのは 1 者のみであるが、プロポーザル方式はこれまでも継続して実施しているのか。また、同一業者が継続して応募しているのか。 ・特定の 1 者のみが継続して参加している状況について、どのように考えているか。 ・1 者しか応募がなかったとのことだが、他の業者への働き掛けを行っていることは評価できる。最低実施人数を定めているとの説明だったが、本コースの最低実施人数は何名だったのか。 ・最低実施人数 12 名に対し、実際の受講者は 5 名であったが、それでも実施したという理解でよいのか。	・近年は雇用情勢の改善により、他のコースにおいても、定員を満たした委託訓練コースは非常にまれとなっている。 本コースも定員割れをおこしている。 ・おおよそ 6 割入校となっている。本コースは定員 16 名に対し、5 名の入校であった。 ・求職者の職業訓練の受講機会確保のため、可能な限り訓練の実施をお願いしている。最低実施人数を下回った場合は、事業者と協議を行うこととしており、本件についても事業者の協力により 5 名で実施してもらっている。 ・参加資格申請の段階では 2 者が参加意向を示したが、当該コースは専門性が高いことから、最終的に提案書を提出したのは 1 者のみであった。また、ここ数年は同一業者のみが提出している状況である。 ・これからも必要となるデジタル分野のコースとなるため、職業訓練の指導ができる事業者の確保に向けて働き掛けを行っているが、専門性の高い指導ができる人を確保できない理由などにより、事業者の参加が進まないと考える。引き続き、業者への声掛けを行っていきたいと考えている。 ・本コースの最低実施人数は 12 名であった。 ・はい。

意見・質問	回答
・過去の実績を見ると、同コースは修了者数が少ない年もあり、受講者確保に苦戦しているコースと見受けられるが、これまでも同様に受講する人数が少ない状況だったのか。 ・見積書では最低実施人数 12 名としている一方で、実受講者数は 5 名となっている。業者にとって採算面で厳しい状況だったと思われるが、事業者からはどのような声があったのか。 ・応募者数が少なくても、地域の人材育成や雇用確保の観点から重要なコースだと思うので、今後も業者と連携して継続してほしい。（意見のみ）	・求職者にはパソコンの基礎的な内容である事務基本科や事務養成科の人気の高い。一方、当該コースは専門性が高く、求職者に敬遠される傾向がある。しかし、今後も必要となる人材であるので、求職者に向けても広報していきたいと考えている。 ・業者からは厳しいと言われたが、単価 6 万 6 千円の基本委託費に加え、就職実績や資格取得に応じた委託料の加算制度が設けられており、業者はこういったところで成果を上げて委託料を増やそうと努力している。
④ 物品売買（単価）（レギュラーガソリン） （新潟地域振興局津川地区振興事務所：指名競争入札） ・津川庁舎の近隣おおむね半径 4 km 以内に所在する業者を指名したとのことだが、4 km を超えた範囲に入札参加資格を有するガソリンスタンドは存在しないのか。 ・過去の入札状況は。 ・近年の一般的なガソリンの価格上昇を踏まえ、業者から提出された見積価格の妥当性の確認は行ったのか。 ・令和 6 年度は A 社が落札したとのことだが、その前の令和 5 年度はどこの業者が落札した	・阿賀町内で入札参加資格者名簿に登載されているガソリンスタンドは 4 者のみである。近隣の阿賀野市にも該当業者はあるが、津川庁舎から 20km 以上離れているため指名対象としなかった。 ・過去の入札では、いずれもこの 4 者を指名。令和 7 年度は川崎商会、令和 6 年度は A 社が落札しており、同一業者が継続して受注している状況ではない。 ・予定価格は 4 者から徴取した参考見積額と、本庁の契約単価や資源エネルギー庁公表の新潟県平均価格、全国平均価格と比較しても高い水準ではないことを確認している。 ・令和 5 年度の落札者は B 社である。

意見・質問	回答
のか。 ・入札価格が同額となった場合は、くじ引きにより落札者を決定するのか。 ・指名業者が４者と少数であるため、受注業者が順番に落札しているような状況にも見受けられる。金額が適正であれば問題ないが、適切な競争性が確保されることを期待する。(意見のみ) ・ガソリン価格は地域によって差があるように感じるが、本契約は本庁舎契約単価などよりも安価に抑えられた。津川地域は他の地域と比較してガソリン価格が高い地域なのか、それとも安い地域なのか。 ・指名競争入札により競争性が確保され、契約単価も抑えられている点は評価できる。(意見のみ)	・入札価格が同額となった場合は、くじ引きにより落札者を決定する。 ・契約単価 180.4 円は、本庁契約単価 182.6 円及び新潟県平均 182.8 円を下回っており、津川地域は県平均よりも比較的安価な地域であると認識している。
⑤ デンカビッグスワンスタジアム写真判定装置物品売買契約 (新潟地域振興局地域整備部：一般競争入札) ・今回の写真判定装置は SEIKO 製とのことだが、これまではA社製か。 ・資料にある A 社のパンフレットに納入実績としてデンカビッグスワンがあるが。 ・予定価格に対して落札額が半分以下と大きく下回っているが、その要因について把握しているか。 ・調達後の対応を考えると国内メーカーのほうがよいと考えるが、海外メーカー製品について	・最初の平成 25 年に購入した写真判定装置は SEIKO 製である。 ・令和 2 年に購入した運営システム装置のメーカーが A 社である。 ・推測となるが、国内メーカー 2 者による一般競争入札の中で、企業の受注意欲が反映され、低い落札率となったものと考えている。 ・海外メーカー製品については詳細な調査は行っていない。

意見・質問	回答
ては検討したのか。 ・仕様書では参考規格として2社記載してあるが、これは、海外製を除外しているものではないということか。 ・予定価格の妥当性を判断するに当たり、他県の競技場における最近の導入実績の調査は行ったのか。 ・提出された見積額を比較し、低いほうを予定価格と設定したという理解でよいか。 ・本装置を導入することによるランニングコスト、大会時の人件費や、定期的な保守点検費用はどの程度発生するのか。 ・安く調達できること自体は望ましいが、予定価格の半額以下で落札されるような事例については、他に与える影響等が気になり、将来的により事例としてよいのか疑義が残る。(意見のみ) ・今回更新した理由として、耐用年数を超えているため、と説明があったが、何年経過していたのか。前回はいつ頃購入したのか。 ・耐用年数についてどのような説明を受けていたのか。	国内メーカー製品であれば、海外メーカー製品に比べて部品調達の面で支障が少ないと考えている。また、国内メーカー2者による競争性も確保できることから、この2者を参考規格として示した。 ・参考規格として記載しているもの。海外製品を除外するものではない。 ・予定価格の設定に当たり、そのような調査は行っていない。 ・提出された見積額について、カタログに掲載されている価格と比較した上で予定価格を設定した。また、本装置は特殊性が高く、独自に積算することは困難であった。 ・デンカビッグスワンスタジアムは指定管理者が入っており、県が装置を購入し、保守点検は指定管理者が実施することとなっている。 保守点検費用は年間 30 万円程度であり、更新によって価格は上がっていない。 ・平成 25 年。 ・一般的な電化製品としての耐用年数は5年程度と考えられるが、高額な機器であることから、定期的なメンテナンスを行いながら継続使用してきた。

意見・質問	回答
・今回の更新時期は、5年ごとの公認検定の直前なのか。 ・故障した場合に重大な影響があるとのことだが、予備はあるのか。 ・仮に故障した場合、第1種公認陸上競技場としての認定に影響するのか。どのような影響があるのか。 ・実際には故障するまで使用できないこともないが、10年以上使用し、交換部品もないため、更新したという理解でよいか。 ・長期間にわたり使用した上で更新し、さらに一般競争入札によって価格も抑えられたことは適切な対応だったと思う。(意見のみ)	また、デンカビッグスワンスタジアムは第1種公認陸上競技場であり、5年ごとに日本陸連の検定を受ける必要があるため、その都度、点検等を実施しながら使用してきた。 ・次回は令和9年。 ・同じものがある。 ・故障した場合には、着順判定ができなくなるなどの支障が生じる可能性がある。 ・はい。